Uniden®

取扱説明書

地震津波警報機

品 番　EWR200

このたびはユニデン地震津波警報機をお買い上げいただきありがとうございます。

■ 製品をご使用になる際は必ず「安全上のご注意」をお読みください。安全のための注意事項をお守りいただけない場合は、お使いになるかたや他の人への危害や物的損害の原因となることがあります。
■ この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みの上、安全にお使いください。
■ 保証書は「お買い上げ日・販売店」などのご記入を確かめ、大切に保管してください。

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。 http://www.uniden.jp/

もくじ

本機の特長

本機は FM ラジオ放送の「緊急地震速報」ならびに「緊急警報放送」を常時監視し、いずれかの警報音を受信した際に受信放送を開始し、報知するシステムです。

- 「緊急地震速報」、「緊急警報放送」を受信
- 速報・警報信号を検出すると、自動で放送を受信
- 放送と同時に LED ライトが点滅し、光と音でお知らせ
- 停電時でも放送の監視・受信が可能な、安心の2電源（AC コンセント／バッテリー）方式
- 停電時には非常灯として自動で LED ライトが点灯

ご使用の前に

ご使用の前に — 必ずご確認ください

お住まいの地域で聴取可能な FM 放送局が、緊急地震速報・緊急警報放送に対応しているかご確認ください。
※ 製品に付属の「ラジオ放送局ガイド」（別冊）でご確認いただけます。

緊急地震速報（EEW）とは

地震波が２点以上の地震観測点で観測され、最大震度が５弱*以上と予測された場合に気象庁が発表する予報および警報です。
地震の大きな揺れが始まる数秒から数十秒前に、その到達時刻と震度を推定し、事前に通知することを目的としています。
＊ 各放送局により放送する震度が異なります。

気象庁が配信する緊急地震速報の詳細については、気象庁のホームページ（http://www.jma.go.jp/）をご覧ください。

ご注意！
・NHK の FM 放送局は全国の緊急地震速報を放送します。そのため、本機は設置した地域と関係のない緊急地震速報でも受信し、警報動作を行います。

緊急警報放送（EWS）とは

大地震や津波などの災害発生をいち早く伝える放送です。災害が発生した際に、テレビやラジオから「ピロピロ」という警報音を発し、災害の発生と災害情報をいち早く知らせることを目的としています。都道府県知事の要請に応じて NHK をはじめとする各放送局により放送されます。

具体的には、人命や財産に重大な影響のある以下の３つの場合に限って放送されます。
■東海地震の警戒宣言が発せられた場合
■津波警報が発せられた場合
■地方自治体の長から、避難命令などの放送の要請があった場合

緊急警報放送には、地震などの災害時に放送される緊急ニュース番組などがあります。内容により、第１種、第２種に区別され放送されます。

放送の内容	区分
・大規模地震の警戒警報	第１種
・災害対策基本法に基づき地方公共団体の長が発する災害に関する警報	第１種
・津波警報	第２種

本機は第１種、第２種両方の緊急警報放送を受信できます。

ご使用の前に（つづき）

緊急地震速報・緊急警報放送を聞いたら

まずは身の安全を確保することを第一に、落ち着いて行動することが大切です。
家の中での対応が基本ですが、学校や職場など、外出中に緊急地震速報・緊急警報放送を見たり聞いたりしたときの行動についても考えておくことが重要です。
また、実際に災害が発生したときにあわてず適切な行動がとれるよう、日ごろから災害に対する十分な心がまえをしておきましょう。

災害への心がまえ

- 地震時に備え、家屋の耐震化や家具の転倒、落下防止などの対策はしているか。
- 消火器や避難時の懐中電灯、ラジオ、非常食、飲料水など非常用持出品は備えているか。
- 自宅や勤務先などの周囲に、災害発生時に危険となる場所がないか。
- 事前に避難施設の場所、またそこまでの避難路を確認しているか。
- 家族間の連絡方法などは決まっているか。

使用上のご注意

- 震度 5 弱以下と予測された場合でも、地域によっては緊急地震速報が放送される場合があります。
- 直下型地震の場合、地震の揺れが発生してから緊急地震速報が放送される場合があります。
- 各ラジオ局によって放送する緊急地震速報の震度が異なる場合があります。
- 気象庁が地震の発生を予測できない場合、緊急地震速報は放送されません。
- 通常の放送中に緊急地震速報のチャイム音に似た音が放送された場合、本機は警報動作を行うことがありますので予めご了承ください。
- 本機の緊急地震速報・緊急警報放送の受信動作については弊社にて十分確認を行っており、情報発信元である NHK ならびに民放ラジオ放送局が責任を負うものではありません。

免責事項

- 本機自体で地震や災害による被害・損害を回避または軽減するものではありません。
- 万一本機の不具合、誤った設置やお取り扱いなどにより速報・警報の受信、報知ができなかった場合でも、災害によって生じた被害・損害について保証するものではありません。

安全上のご注意

製品を正しく安全にご使用いただくために、ご使用の前に必ず次の事項をお読みください。

警告表示の意味
取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	火災、感電などにより死亡や大けがを負うおそれがある内容を示しています。
⚠注 意	けがをしたり周囲の物品に損害を与えるおそれのある内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号	行為を禁止する記号			行為を指示する記号	
一般的注意	禁 止	分解禁止	ぬれ手禁止	一般的指示	電源プラグを抜く

⚠警 告

AC アダプターのコードを破損するようなことをしないでください

禁 止

製品と壁や床などの間に挟み込まない
加工したり、傷つけたりしない
重いものをのせたり、引っ張ったりしない
熱器具に近づけたり、加熱したりしない
AC アダプターを抜く時は、必ず本体を持って抜く

火災・感電などの原因となります。

煙・異臭・異音が出た場合、落下・破損した場合は、使用を中止し、AC アダプターを抜いてください

電源プラグを抜く

落としたり、水がかかったり、破損した場合は使用を中止し、AC アダプターを抜く
煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止し、AC アダプターを抜く

火災・感電などの原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警告

不安定な場所に置かないでください

禁止

落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

水をかけたり、ぬらしたりしないでください

禁止

火災・感電・故障の原因となります。

浴室やシャワー室では使用しないでください

浴室での
使用禁止

本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

水滴のかかる場所や、湿気、湯気、油気、ほこりの多いところには設置しないでください

禁止

火災、感電の原因となることがあります。

近くに花瓶など水の入ったものを置かないでください

水ぬれ禁止

水がこぼれるなどして中に入ると、火災、感電の原因となります。

バッテリーおよび AC アダプターは必ず本機に付属のものをご使用ください

注意

本機に付属の専用バッテリー・専用アダプターをお使いください。付属品以外のものを使用した場合、バッテリーの液もれや発熱、破裂および発火などの原因となります。

分解・修理・改造をしないでください

分解禁止

けがや感電などの事故または故障の原因となります。

AC アダプターにホコリなどが付着しているときは、AC アダプターを抜いて乾いた布で取り除いてください

ほこりを取る

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

AC アダプターは確実に差し込んでください

確実に
差し込む

差し込みが不完全な場合は発熱したり、ほこりが付着して火災・感電の原因となることがあります。

安全上のご注意（つづき）

⚠警 告

AC100 V 以外での使用、コンセント・配線器具の定格を超える使用、タコ足配線をしないでください

禁 止

火災や感電の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、アンテナや AC アダプターに触れないでください

接触禁止

感電の原因となります。

端子部に異物を差し込んだり、針金などの導電物を差し込んだり、接続したりしないでください

禁 止

感電・火災・故障の原因となります。

お手入れや長時間使用しないときは AC アダプターを抜いてください

電源プラグを抜く

感電や故障の原因となることがあります。

移動するときは、AC アダプターをはずしてください

接続線をはずす

コードが傷つき感電や故障の原因となることがあります。

⚠注 意

お手入れをするときはシンナーやベンジンなどの薬品を使用しないでください

禁 止

変質、変形、変色の原因となります。

壁に掛けて設置する場合は、十分な強度のある面に取り付けてください

取付注意

落下による破損の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

バッテリーの取り扱いについて

⚠警告

バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしないでください

禁止

発火や破裂の原因となります。

分解・修理・改造をしないでください

分解禁止

液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

バッテリー内部の液が皮膚に付着したり目に入ったりしたときは、きれいな水で洗ったのち、直ちに医師の診察を受けてください

注意

皮膚の傷害や失明などの原因となります。

直射日光の当たるところやストーブのそばなど、高温になる場所での使用や放置はしないでください

禁止

液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製のネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください

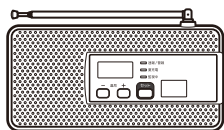
禁止

液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

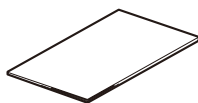
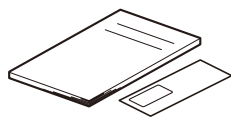
本機以外の機器に使用しないでください。また、指定以外の方法で充電しないでください

禁止

液もれ、発熱、破裂や発火の原因となります。

本体と付属品

本 体

AC アダプター
（品番：AD-1131）

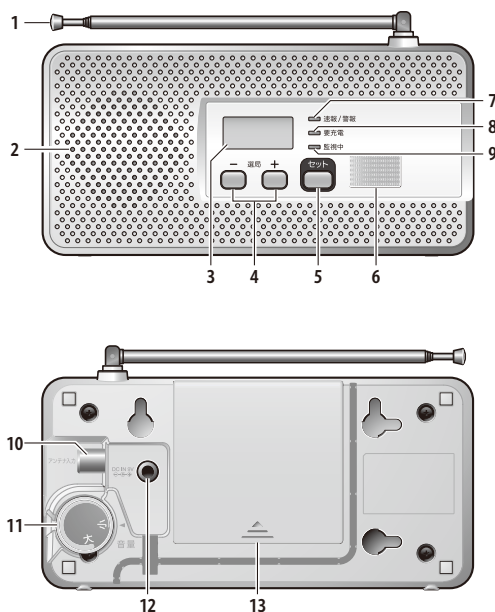
バッテリー
（品番：BT-786）

取扱説明書・保証書（各1部）

ラジオ放送局ガイド（1部）

※ 保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

この取扱説明書のイラスト・画面などは説明のため、実際のものとは異なる場合があります。

各部のなまえ

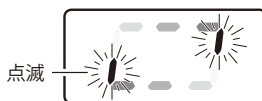
本体

1　ロッドアンテナ
2　スピーカー
3　液晶ディスプレイ
4　**選局＋ / －**キー
5　**セット**キー
6　LED ライト
7　速報 / 警報ランプ
8　要充電ランプ
9　監視中ランプ

10　アンテナ入力端子
11　音量調節ダイヤル
12　AC アダプター接続端子
13　バッテリーカバー

液晶ディスプレイ部

■ 設定中／受信中

■ 監視モード中

監視モード中は右のように表示部が
[--] 型に点滅します。

基本的な使いかた

電源について

本機に電源スイッチはありません。

● 本機は常時電源待機状態で速報・警報を監視し、速報・警報が放送されたときのみ、音声と LED ライトの点滅でお知らせします。

音量を調節する

本体底面の音量調節ダイヤルで調節します。

● 平常時（監視モード中）は音は出ません。
● 製品の性質上、音量を最小にしても完全な消音にはなりません。

選局する

選局 ＋/− キーで選局します。

●キーを短く押す
周波数が 0.1MHz ずつ変わります。

●キーを長く押す（約1秒間）
オートサーチ（自動選局）モードになり、放送を受信するとサーチを停止します。

監視モードを設定する／解除する

セット キーを押します。

警報を途中で止める

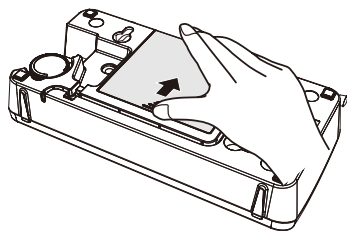
警報動作中（音声が聞こえ、LED ライトが点滅している状態）に セット キーを押します。

準備する

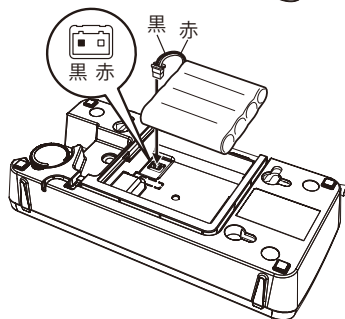
バッテリーを入れる

バッテリーに関するお願い

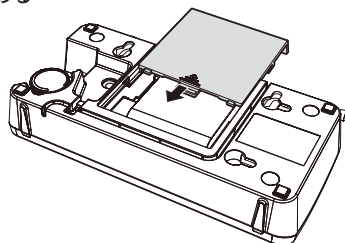
- 停電時に備えて必ずバッテリーを入れてご使用ください。
  バッテリーをセットした本体をコンセントにつなぐことで、バッテリーに充電されます。
- バッテリーは停電など非常時の補助用電源です。通常時は必ず AC アダプターを接続してご使用ください。
- 長期間使用しない場合は、必ずバッテリーをはずして保管してください。バッテリーを接続したまま長期間放置すると、バッテリーの液漏れによる故障の原因となることがあります。

1 バッテリーカバーを開ける

2 バッテリーのプラグをコネクタに接続する

バッテリー端子を奥まで（カチッと音がするまで）きちんと押し込んでください。

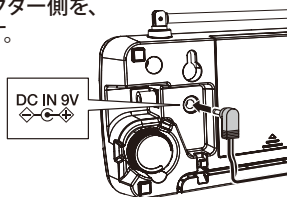
※ バッテリー本体およびコネクタの挿入向きは右図を参照してください。

3 バッテリーを入れ、バッテリーカバーを閉める

バッテリーケーブルをはさまないようご注意ください。

ご参考
- 停電時など、バッテリーで駆動中にバッテリー残量が少なくなると、**要充電**ランプが点滅します。

準備する（つづき）

AC アダプターをつなぐ

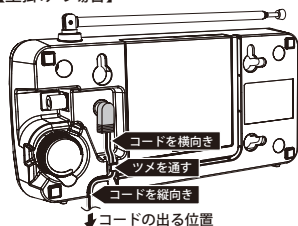
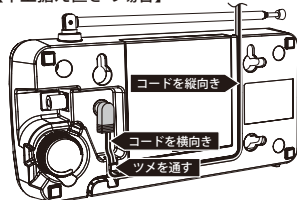
1 付属の AC アダプター（品番：AD-1131）のコネクター側を、本体底面の AC アダプター接続端子に接続します。

ご注意！
・必ず本機に付属の AC アダプターをご使用ください。他の AC アダプターは使用しないでください。

2 AC アダプターのコードを本体裏面のみぞに通します。

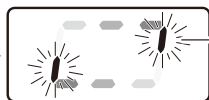
コードをツメに通してから、コードを縦向きにして指先などで押し込みながらみぞに通します。

※ 設置のしかたによってコードを通すみぞが異なります。

【卓上据え置きの場合】

【壁掛けの場合】

3 AC アダプターの電源プラグ側を、家庭用コンセントに接続します。

本機には電源スイッチがありません。
電源プラグを AC コンセントに接続すると自動的に電源が「オン」になります。15 ページ～の設定を始める前に、本体底面の音量調整ダイヤルを回し、音量を小さめに設定しておいてください。

電源がオンになり、液晶ディスプレイ部に周波数（初期設定値 82.5MHz）が表示されたあと、右の画面になります。

アンテナを立てる

製品後部にあるロッドアンテナを起こして伸ばします。

ご参考
・ロッドアンテナの長さや角度によって受信感度が変わります。最適な受信感度が得られる位置・方向を探してください。

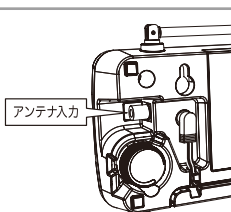
本体を設置する

設置にあたっては、下記「設置場所について」の条件を満たす場所を選定してください。
※ 壁に掛けて設置することもできます。
　取り付けかたは「壁に取り付ける」（➡ 22 ページ）をご覧ください。

設置場所について

● **FM ラジオ放送が良好に受信できるか**
本機は選局した FM ラジオ放送局より送られる速報・警報信号を検知し、受信します。

ご参考
・本体についているロッドアンテナで十分な受信感度が得られない場合は、本体底面のアンテナ入力端子にアンテナケーブル（市販品）を接続することで、受信感度が改善する場合があります。設置場所の受信環境に合わせて、最良の受信状態が得られるようにしてください。

・ケーブルテレビに接続する場合は、ご利用のケーブルテレビ局が FM 放送を配信しているかご確認ください。

● **AC アダプターのコードが届く範囲にコンセントがあるか**
本機は停電時を除き、AC コンセントから電源を供給します。AC アダプターの本体側・コンセント側の各端子が引っ張られて抜け落ちたりしないよう、コードの配線には十分な余裕を持たせてください。

● **本機からの音声・警報音・アラーム光が広範囲に行き届く場所か**
閉め切った部屋など音のこもる場所や、本機のスピーカー部、LED ライト部を覆ったり、ふさいだりする物が周囲にないか確認してください。

【壁に掛けてお使いになる場合】

● **取り付ける壁面の材質や強度などが、本機を取り付けるのに十分適しているか**
壁面を軽くたたいてみて梁や柱のある場所を探し、本体を支えるのに十分な強度のある場所に固定してください。

次のようなところには設置しないでください。

テレビ、パソコン、OA 機器や、電子レンジ、無線 LAN 設備などのそば
・ 受信傷害により速報・警報を正しく受信できない場合があります。また受信中に雑音が入ったりすることがあります。

直射日光の当たる場所やエアコンのそばなど、温度変化の激しいところ
・ 結露により誤動作することがあります。

設定する

受信する放送局を設定する<受信周波数設定>

緊急地震速報・緊急警報放送を受信するFM放送局の周波数を設定します。

お願い
・事前に緊急地震速報・緊急警報放送を受信する放送局の周波数をご確認ください。
　※製品に付属の「ラジオ放送局ガイド」（別冊）をお使いください。

1 （セット）キーを押します。

液晶ディスプレイ部に受信周波数（MHz）が表示されます。

2 選局（＋）/（－）キーを押して受信する放送局の周波数を選びます。

● **キーを短く押す**
周波数が0.1MHzずつ変わります。

● **キーを長く押す（約1秒間）**
オートサーチ（自動選局）モードになり、放送を受信するとサーチを停止します。
設定したい放送局が受信されるまで繰り返してください。

ご参考
・電波が弱いなど、受信状態が悪いとオートサーチがはたらきません。

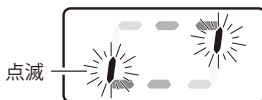
3 音量を調節し、アンテナ方向を調整します。

● **音量の調節**
本体底面の音量調整ダイヤルを回し、放送を聞きながら適切な音量に調節してください。

● **アンテナ方向の調整**
アンテナの向きや高さを調整しながら、受信する放送局の放送が良好に受信できる位置を探してください。

ご参考
・**監視中**ランプが点灯しない、雑音がひどいなど、受信状態が著しく悪いときは、「設置場所について」（➡前ページ）を良くお読みになり、設置場所を変える、アンテナをより感度の高いものに変えるなど、受信環境・受信方法の見直しを行ってください。

4 （セット）キーを押して設定を完了します。

「監視モード」（➡ 17ページ）になります。
監視モード中は、本体表示部の**監視中**ランプが緑色に点灯し、液晶ディスプレイ部が右のようになります。

設定する（つづき）

お住まいの地域を設定する＜受信地域設定＞

緊急警報放送において、特定の都道府県にだけ警報を発する「県域符号」、より広範囲を対象とした「広域符号」を受信するため、お住まいの地域を設定します。

1 **監視モード中に セット キーを長押し（約5秒）します。**

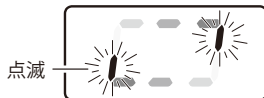
アラーム音が鳴り、設定モードになります。
液晶ディスプレイ部に **ALL** と表示され、**地域**が点滅します。

2 **選局 ＋/－ キーを押して、お住まいの地域の番号（下表参照）を選びます。**

01	北海道	**11**	埼玉県	**21**	岐阜県	**31**	鳥取県	**41**	佐賀県
02	青森県	**12**	千葉県	**22**	静岡県	**32**	島根県	**42**	長崎県
03	岩手県	**13**	東京都	**23**	愛知県	**33**	岡山県	**43**	熊本県
04	宮城県	**14**	神奈川県	**24**	三重県	**34**	広島県	**44**	大分県
05	秋田県	**15**	新潟県	**25**	滋賀県	**35**	山口県	**45**	宮崎県
06	山形県	**16**	富山県	**26**	京都府	**36**	徳島県	**46**	鹿児島県
07	福島県	**17**	石川県	**27**	大阪府	**37**	香川県	**47**	沖縄県
08	茨城県	**18**	福井県	**28**	兵庫県	**38**	愛媛県		
09	栃木県	**19**	山梨県	**29**	奈良県	**39**	高知県		
10	群馬県	**20**	長野県	**30**	和歌山県	**40**	福岡県		

ご参考
OFF に設定した場合：緊急警報放送を受信しません。
ALL に設定した場合：すべて（全国）の緊急警報放送を受信します[注]。
[注] お住まいの地域とは直接関係のない緊急警報放送も、すべて受信します。

3 **セット キーを押して設定を完了します。**

「監視モード」（➡ 17 ページ）になります。
本体表示部の**監視中**ランプが緑色に点灯し、
液晶ディスプレイ部が右のようになります。

設置・設定が終わったら

設置・設定が正しく完了すると、受信していた音声が消え、「監視モード」になります（本機の通常時の状態です）。

「監視モード」中は…

● 音声は聞こえません
● **監視中**ランプが緑色に点灯する
● 液晶ディスプレイ部が右の表示になる

設置・設定が終わったら、「監視モード」になっていることを必ず確認してください。

こんなときは

監視中ランプが点滅または消灯している

受信状態が不十分です。以下を確認してください。

・ AC アダプターの各端子が本機と AC コンセントにそれぞれしっかりと差し込まれているか確認する
・ ロッドアンテナの方向・高さを変えてみる
・ 本機の設置場所を変えてみる
・ 受信する放送局の周波数が、正しい数値に設定されているか確認する
・ 受信する放送局を変えてみる
・ より感度の高いアンテナ（市販品）に変えてみる

● **監視中**ランプが点灯していることを日ごろから確認するようにしてください。

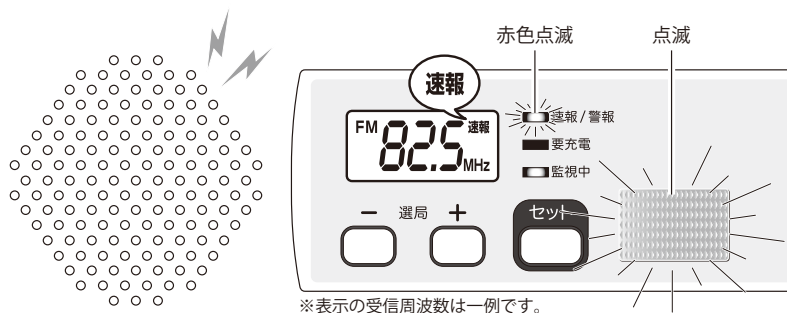
お願い
・設置場所を変えたときなどは、必ず**監視中**ランプが緑色点灯していることを確認してください。

▌警報や放送を受信したら

＜緊急地震速報＞を受信したとき

緊急地震速報を受信すると、本機は以下の動作でお知らせします。

- 受信した緊急地震速報がスピーカーから聞こえます。
- LED ライトが点滅します。
- 液晶ディスプレイ部に **速報** が表示され、受信放送局の周波数が表示されます。
- **速報 / 警報**ランプが赤色点滅します。

※表示の受信周波数は一例です。

この状態は、信号を受信してから 3 分間続きます。

停止したいときは

セット キーを押す

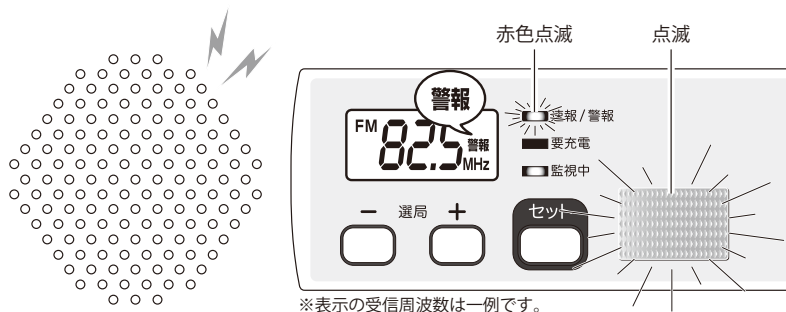
警報動作を終了して、監視モードに戻ります。

警報や放送を受信したら（つづき）

＜緊急警報放送＞を受信したとき

緊急警報放送を受信すると、本機は以下の動作でお知らせします。

- 受信した緊急警報放送がスピーカーから聞こえます。
- LED ライトが点滅します。
- 液晶ディスプレイ部に **警報** が表示され、受信放送局の周波数が表示されます。
- **速報 / 警報**ランプが赤色点滅します。

※表示の受信周波数は一例です。

この状態は、最初に信号を受信してから 30 分間、あるいは放送の終了信号を受信するまで続きます。

停止したいときは

キーを押す

警報動作を終了して、監視モードに戻ります。

点検する

いざというときに本機が正しく動作するよう、本機の日常的、定期的な点検を行うことを心掛けてください。

日常の点検

監視中ランプの状態を確認する

速報/警報
要充電
監視中

- **緑色点灯**　正常です。
- **点滅、消灯**　正しく受信できていません。
「こんなときは」(➡ 17 ページ）の項目を確認し、再度設定を行ってください。

定期的な点検

点検１　監視中ランプの状態を確認する（上記「日常の点検」参照）

点検２　受信状態を確認する

1 音量調整ダイヤルを回して音量を最小にします。

2 セット キーを押して監視モードを解除します。
監視中ランプが消えて監視モードが解除されます。

3 FM ラジオ放送が聞こえることを確認し、音量を調節します。
FM ラジオ放送の受信状態を確認してください。放送を聞きながら音量調整ダイヤルを回して警報受信時に必要な音量に調節してください。

4 セット キーを押して監視モードに戻します。
監視中ランプが緑色点灯していることを確認してください。

速報/警報
要充電
監視中

点検する（つづき）

<緊急警報放送>の試験放送を受信する

緊急警報放送は、定期的に試験放送を実施しています※。
この試験放送を受信することで、緊急警報放送が正しく受信できるか確認することができます。

※ 試験放送は、NHK-FM で毎月1日（1月のみ4日）の正午前（午前 11 時 59 分〜午後 12 時 00 分の1分間）に放送されています。

試験放送を受信すると、

- 液晶ディスプレイ部に **試験** および **警報** が表示されます。
- **速報 / 警報**ランプが赤色点滅します。

※ 音声は聞こえません。
※ LED ライトは点滅しません。

この状態は、信号を受信してから約9時間続きます。

停止して監視モードに戻すときは

1 セット キーを押す

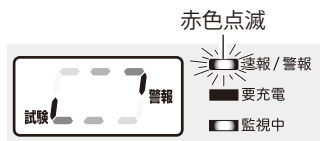
設定している受信周波数が表示されます。

2 もう一度 セット キーを押す

監視モードに戻ります。

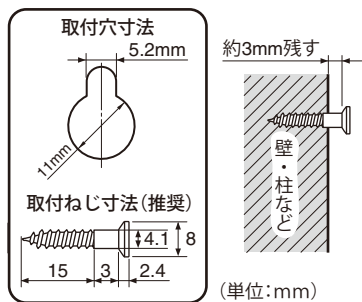
停電があったら

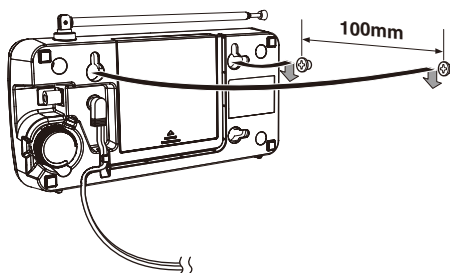
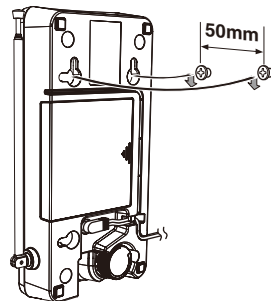
停電で電源が遮断されると、本機は自動的にバッテリーモードに切り換わり、LED ライトが点灯します。（電気の復旧後は再び AC 電源モードに切り換わり、LED ライトは消灯します。）
受信周波数や受信地域などの設定項目を再設定する必要はありません。

ご参考
・バッテリーを交換する際など、バッテリー、および AC アダプターの両方とも本機から取りはずした場合は、再設定が必要となります。

壁に取り付ける

本機は壁に掛けてもお使いいただけます。縦・横いずれかの方向に取り付けることができます。
（取付用ネジは付属しておりません。市販のねじ2本をご用意ください。）

1 ネジ（市販品）2 本を柱や壁などに取り付ける

- 右図のように取付面から 3mm 程度の隙間を空けてください。
- ねじ2本の取付ピッチ（間隔）については手順3の図をご覧ください。
- 取付用ネジは右記寸法に合ったものをお買い求めください。
- 取付場所の選定にあたっては下記「ご注意」をよくお読みください。

2 AC アダプターを接続する（➡ 13 ページ）

3 背面にある2ヶ所の壁掛け穴をネジに引っ掛け、きっちりと固定されるまで下に引く

【よこ掛けの場合】　【たて掛けの場合】

ご注意！
- ベニヤ板など薄い板壁やボード板（石膏ボード）、また振動の多いところには取り付けないでください。落下するおそれがあり危険です。
- 柱や壁の中にケーブルやパイプが通っているところにネジを取り付けないでください。ケーブルやパイプを破損したり、感電したりするおそれがあり危険です。

バッテリー交換について

すぐに要充電ランプが点滅する場合は、バッテリーの寿命が考えられますので、新しいバッテリーと交換してください。

お願い

- バッテリーは消耗品です。停電がほとんどなかった場合でも、2 年に 1 度はバッテリーを交換することをお勧めします。
- 必ず指定のバッテリー（別売品／品番：BT-786、仕様：ニッケル水素電池、DC4.8V、1,800mAh）をお使いください。ご注文は、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターにお申しつけください。

バッテリー交換のしかた

「バッテリーを入れる」（➡ 12 ページ）をご覧ください。

バッテリーの充電について

バッテリーをセットした本体をコンセントにつなぐことで、バッテリーに充電されます。

本体を次のような場所に置かないでください。充電不良の原因となります。

- 周囲温度が 5℃以下、または 30℃以上になるところ
  （周囲温度が高すぎる、または低すぎると、充電されないことがあります。）
- 湿気やほこり、振動の多いところ

ご使用後は
リサイクルへ

- 本機のバッテリーはニッケル水素電池を使用しています。
- ニッケル水素電池はリサイクル可能な資源です。不要になった電池は廃棄せず、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 不要になったバッテリーを一般のゴミとして捨てないでください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。

一般社団法人 JBRC
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

リサイクル時のお願い

- バッテリーはショートしないように、端子に絶縁テープを貼ってください。
  火災・感電の原因になります。
- ビニールカバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- バッテリーを分解しないでください。

お手入れについて

汚れたときは
柔らかい布で本体を拭いてください。
※ 汚れがひどいときは、水を含ませて硬く絞った布で拭き取ってください。

お手入れに使用できないもの
ベンジン、シンナー、アルコール、油類、化粧品、洗剤などは表面の仕上げをいためますので使用しないでください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に次のことをもう一度お調べください。
次のことを調べても、なお異常があるときは、＜ユニデンダイレクト＞お客様センターへお電話いただくか、または＜ユニデンダイレクト＞ホームページよりお問い合わせください。(➡裏表紙をご覧ください。)

	症　状	ここをチェック	処　置	参照ページ
設定・操作時	**電源が入らない（液晶ディスプレイ部に何も表示されず、ランプがすべて消えている）**	AC アダプターがはずれていませんか?	本体側、コンセント側の各プラグをしっかりと差し込んでください。	13
	音が出ない	ラジオ放送は正しく受信できていますか?	受信周波数を確認し、受信周波数設定で周波数を設定し直してください。 放送局の周波数についてはラジオ放送局ガイド（別冊）をご覧ください。	15
	選局中に雑音やひずみ音が入る、音が悪い	電波の受信状態が悪いことが考えられます。	・ロッドアンテナの方向・長さを変えてみてください。 ・本機を設置する場所を変えてみてください。	13,14
		近くにテレビやパソコンなど他の電気製品がありませんか?	本機を設置する場所を変えてみてください。	14
監視モード時	**監視中ランプが消えている、または点滅している**	電波の受信状態が悪いことが考えられます。	・ロッドアンテナの方向・長さを変えてみてください。 ・本機を設置する場所を変えてみてください。	13,14
	選局＋、－キーを押しても周波数が変わらない	監視モードになっています（平常時の正常な状態です）。	監視中（監視中ランプが緑色に点灯）は、**セット**キー以外のキー操作は無効です。受信周波数設定を変える場合は**セット**キーを押し、監視モードを解除してください。	–
	要充電ランプが点滅している	AC アダプターがはずれていませんか?	本体側、コンセント側の各プラグをしっかりと差し込んでください。	13
		バッテリーの寿命が考えられます。	新しいバッテリー（別売）に交換してください。	23

故障かな?と思ったら（つづき）

	症　状	ここをチェック	処　置	参照ページ
監視モード時（つづき）	**停電時などバッテリーで駆動中、すぐに要充電ランプが点滅する**	バッテリーの寿命が考えられます。	新しいバッテリー（別売）に交換してください。	23
	地震や災害が発生したのに、音声が出ない	監視モードになっていない。	**セット**キーを押して監視モードにしてください。（**監視中**ランプが緑色に点灯します。）	17
		ラジオ放送のない周波数に設定されていませんか？	受信周波数設定で、周波数を設定し直してください。 放送局の周波数についてはラジオ放送局ガイド（別冊）をご覧ください。	15
		設定した放送局は緊急地震速報・緊急警報放送に対応していますか？	受信周波数設定で、対応している放送局の周波数に設定し直してください。 放送局の対応・非対応状況についてはラジオ放送局ガイド（別冊）をご覧ください。	15
	地震や災害が発生していないのに、音声が出ている	監視モードになっていない。	**セット**キーを押して監視モードにしてください。（**監視中**ランプが緑色に点灯します。）	17
		警報音に近い音が放送された。	異常ではありません。	―
	地震や災害が発生していないのに、速報 / 警報ランプが点滅している	試験放送を受信した。	異常ではありません。	21

おもな仕様

項目		
品名	地震津波警報機	
受信周波数	FM 放送帯域：76 ～ 90MHz（100kHz ステップ）	
警報検出方式	緊急地震速報	NHK 方式緊急地震速報チャイム音
	緊急警報放送	ARIB 標準規格 BTA R-001 に準拠した FSK 信号
スピーカー	57mm　8 Ω	
音声実用最大出力	最大 1.2W（85dBSPL）	
外部アンテナ端子	ピンジャック　50 ～ 75 Ω不平衡	
停電時動作	監視モードで 24 時間以上、LED ライト点灯（満充電時）＊	
使用電源	AC アダプター	品番：AD-1131 100 ～ 240V　50/60Hz、DC9V　550mA
	専用ニッケル水素電池	品番：BT-786 DC4.8V　1800mAh
消費電力	警報時	5.2W（ボリューム最大、電池接続時）
	監視時	1.0W（電池接続時）
外形寸法（突起部含まず）	184mm（幅）× 41mm（高さ）× 90mm（奥行き）	
質量	約 410g（バッテリー含む、ただし AC アダプターを除く）	

＊　バッテリー持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

最新の商品情報やサポート情報は、ホームページにてご覧いただけます。

http://www.uniden.jp/

⚠ 安全に関するご注意

ご使用の前には取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。

● 水、湿気、ホコリ、油煙等の多い場所には設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

● 浴室やシャワー室では使用しないでください。本機は防水仕様ではありません。感電や故障などの原因となることがあります。

● 不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

取扱説明書は、右記のホームページにてご覧いただけます。 **http://www.uniden.jp/support/manualdl.html**

愛情点検

長年ご使用の地震津波警報機の点検を！

熱、湿気、ホコリの影響や、使用度合によっては部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることがあります。

このような症状はありませんか

- ● ACアダプターのコードが傷んでいる。
- ● 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ● 内部に水や異物が入った。
- ● 正常に動作しなくなった。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントからACアダプターを抜き、必ず<ユニデンダイレクト>お客様センターにご相談ください。

保証書に関するお願い

●保証書は「お買い上げ日・販売店」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

●保証期間・保証規定については保証書の内容をよくご確認ください。保証期間中でも有償修理になる場合があります。

注意事項

●本機を使用できるのは日本国内のみです。

●製品の仕様およびデザインは、改善等のため予告無く変更する場合があります。

●お客様から弊社にお電話にてご連絡いただいた場合、正確な対応のため、通話内容を記録・録音させていただくことがあります。

●ユニデン株式会社およびその関連会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や配送・修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。

●電話受付時間は、諸般の事情により予告無く変更する場合があります。電話受付は、年末年始など特定の期間に休ませていただく場合があります。

<ユニデンダイレクト>お客様センター 当社製品のご注文・お取り扱い方法など、ご不明な点は下記にご相談ください。

●商品のご注文 **0120-012-123**　●サポートダイヤル **0120-20-20-70**

<ユニデンダイレクト>ホームページ **http://www.uniden-direct.jp/**

EWR200　取扱説明書

発行日：2010 年 8 月　第 1 版

ユニデン株式会社
〒 104-8512 東京都中央区八丁堀 2-12-7
http://www.uniden.co.jp/